

第 10 回 CPS 時代における情報システムのリデザイン研究会 開催報告

日時：2021 年 1 月 9 (土) 13:00 ~ 16:00

会場：ウェブ会議 (Zoom)

参加者：田名部、原、小久保

一般参加者：藤原、原、津久間

配布資料：(1) RD4IS ディスカッションペーパー

(2) ドメイン駆動開発入門

議論：

1 藤原さんの情報科学専門学校での講義をベースに「ドメイン駆動開発の入門」の報告を受けた。

- ・ Eric Evans の提唱された概念とデザインパターンによる要求事項のモデル化する手法
- ・ ドメイン駆動開発を EA、構造化分析と比較しドメイン駆動開発に特にかけているものはファシリテーション
- ・ 藤原さんの解決手法の提示 - 業務フローの作成
- ・ ドメイン駆動開発とデータモデリングの比較

2 1 の報告を受けての議論

- ・ コンテキストと用語の関係
- ・ 時間と空間の識別 - 業務フローの見方
- ・ ドメインモデルと正規化モデル
- ・ システムの創発視点
- ・ エンジニアリングと技術者教育

3 ディスカッションペーパーを基にこれまでの取組を総括レビュー

- ・ CPS が創造する新たな価値
- ・ 情報システム開発の環境変化
 - ◇ ビジネスモデルの変革
 - ◇ システムの視点の変化 ~モノからコトへ~
 - ◇ 重要になる協創
 - ◇ 不確実性の増大
- ・ 情報システム開発の課題
 - ◇ 考慮すべき範囲、条件の拡大
 - ◇ 必要な技術、専門知識の広範さ
 - ◇ 製品/サービスを実現するシステム自体の複雑化
- ・ システムエンジニアリングの 4 つのポイント
 - ◇ 目的指向と全体俯瞰
 - ◇ 多様な専門分野を統合
 - ◇ 抽象化・モデル化
 - ◇ 反復による発見と進化
- ・ その他

- ◇ ペースレイヤモデル
- ◇ 接続性の時代のカスタマ・ジャーニー

4 3 のレビュー総括を受けての議論

- ・レイヤモデルが重要
- ・ビジネスエコシステムの考え方
- ・概念、内包、外延の捉え方
- ・アーキテクチャ・モデルは記録システムに適合
- ・協働システムや洞察システムを含意したアーキテクチャ

5 今後の進め方

- ・これまでの成果をまとめて、そこから新たな研究目的を導出して研究を継続していく。

6 次回（第 11 回研究会）の予定

日時：2021 年 2 月 13 日（土） 13:00 ～ 16:00

会場：Zoom 会議

参加者には招待メールを差し上げます。

主題：情報システムのリデザインのフレームワークの提案

以上